

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	輝HIKARI志木			
○保護者評価実施期間	2026年 2月20 日 ～ 2026年 3月 5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2026年 2月25 日 ～ 2026年 3月 5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されていないこと	全利用者が満遍なく取り組み、満足できるように毎日の朝礼や事業所ミーティングで職員間で話し合いを行い、日々の支援を行っている。	5領域に沿い、尚且つ保護者様のニーズ、利用者のやりたい事が叶えられるような活動プログラムを作成していく
2	日頃から保護者と意思の疎通や情報伝達を行い、共通理解が出来ている。	面談の時や、送迎時を利用してご自宅の様子や学校での様子などの聞き取りを行っている。その際に保護者様が困っていることや相談などが上がった際には、助言をしたり事業所で出来るようなものに対しては、職員間で話し合いを行ったり学校とも連携を行い、対応をしている。	更に共通理解を深める為に、各職員がスキルを上げ、保護者様からの相談事や悩み事に対してお応えできるようにしていく。
3	利用者が安心して通所する事が出来ている。	利用者が居場所として過ごせるように、利用者のニーズも考えたり、楽しいことやイベントごとなどを企画している。また、疲れがある時は、無理をさせずゆっくりできる環境を整えている。	安心して過ごせることに加えて、「楽しい」「行きたい」と思ってくれる環境を職員全員で作っていき、利用者も保護者様も安心できる事業所を目指していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対しての家族支援プログラムや家族などが参加できる研修会、情報提供の機会がないこと	職員が家族支援の研修をやるうえでの知識や経験が少ないため保護者様と時間をとって研修を開く時間を設けてこなかったため	家族支援が出来る経験を得る為に、職員が積極的に外部の研修を受講していくこと まずは、面談の時などに研修で学んだことを活かしていく事で認知度を付けていく 外部で家族支援の講演などがあればチラシを保護者様に配布をする
2	父母会の活動支援や保護者会など開催をして保護者同士の交流の機会は設けられているか。まだきょうだい向けのイベントなども設けられているかについて。	なかなか保護者同士の交流の機会を作る事が出来ない また、双子などの兄弟が多くなってきているのに対してなかなか兄弟支援が出来ていない	要望があれば保護者会を実施して保護者同士の交流が出来る機会を作っていきたい。また、要望が無い場合でも保護者同士が交流できる環境を作れるように調整していきたい
3	事故防止マニュアルや緊急時のマニュアル、防犯マニュアルなどが策定されており保護者に周知されていること	事故防止マニュアルや緊急時のマニュアル、防犯マニュアルなどが策定されているが、全保護者に周知されていない。理由としては、契約時に簡易的に説明を行ってしまっている為	面談時や契約時にマニュアルの説明や、実際にどうしているのかを説明していく